

## 第4回連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」

【開講あいさつ】連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」は、東京大空襲をはじめとする都市無差別爆撃の被災者の証言や当時の記録映画などを通じて、法廷での闘いはまた異なるチャンネルで、都市空襲の恐ろしさを一般の人たちや学生など若い世代に広く知ってもらうことを主な目的にした都市空襲入門講座です。と同時に、イスラエルによるガザ地区空爆に代表されるように、現代に至っても絶え間なく続く都市空襲の連鎖を断ち切る方法はないのか。また空襲の悲惨さや被災者の心の痛みを次世代にどう伝えていけばいいのかをともに考えることを開講にあたって念願としています。

講座は2010年9月から翌年7月までの計10回（12月は休講）。毎月1回開講。空襲体験者の声を聞く5回連続のパートIに続き、パートIIは海外の作品を含め空襲の恐ろしさを描き出した優れたドキュメンタリー映画などを鑑賞、コメンテーターの背景説明をもとに、映像による”証言”から空襲の歴史をともに考える場にしよう企画しました。

日時：1月23日（日）午後2時から（開場は午後1時半）

会場：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス・2階大研修室（港区麻布台1の11の5、電話03・5545・7789）  
地下鉄・日比谷線・神谷町駅下車／1番出口。桜田通りを東京タワー方面へ徒歩5分

講師：古内竹二郎さん  
（中島飛行機爆撃空襲の体験者）



演題：「軍需工場への爆撃空襲の日々」

【内容】B29による最初の東京空襲は武蔵野市の中島飛行機武蔵製作所だった。同製作所は当時、東洋一の近代設備を誇る工場で、ゼロ戦などのエンジンを生産。古内さんは機械工としてこの工場に働いていた。敗戦の日まで十数回に及ぶ爆撃で、古内さんは空襲の恐怖にさらされる日々だった。避難先の防空壕の近くに大型爆弾が落ち、壕が崩れて生き埋めになりかけた体験も。悪夢のような空襲体験の証言とともに、人命を簡単に奪ってしまう戦争の持つ残酷さを訴える。

資料代：500円（学生・高校生300円、中学生以下は無料）

主催・都市空襲研究会 協力・東京大空襲訴訟原告団

連絡先 東京大空襲訴訟原告団

東京都墨田区押上1の33の4の102 TEL・FAX 03(3616)5531